



2月22日(金)、地域の方々・保護者の皆様、約110名のご参観をいただき「平成30年度 6年生を送る会」を盛大に開催することができました。6年生との思い出や感謝の気持ちを1年生から5年生は発表をし、6年生は親への気持ちを感謝の手紙にして朗読しました。6年生の手紙には、会場の多くの皆さんが涙しました。笑いあり、涙ありの感動が伝わる素晴らしい6送会でした。ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。各学年の発表をお伝えします。

「6年生を送る会！」

【1年生の発表の様子】



1年生は「思い出のアルバム～沓見動物学校～」と題して、6年生の主な出来事を紹介しました。1年から6年までの主な行事を写真でスクリーンに映し出し、各動物さんがその思い出を演劇しました。

1年生の元気な声とかわい演技に、会場も穏やかなムードに包まれていました。

1年間の成長がうかがえる、素晴らしい発表でした。

【2年生の発表の様子】



2年生は「思い出をとりもどせ」と題して、6年生との思い出を泥棒に盗まれたA君が思い出を仲間と共に取り戻しに行くお話でした。体育大会の応援リーダーやダンス、修学旅行でのドーナツ販売やUSJ、スーパーなわとび、山場先生との思い出の場面があり、最後は歌を歌って、6年生と沓見小で過ごした楽しい時間を語りました。最後に伝えた「僕たちも6年生のように沓見小学校を引っ張っていけるように頑張ります。」という言葉に、6年生のすばらしさを感じました。

【3年生の発表の様子】



3年生は「お宝を探しに」と題して、エルマーとヤンマーの大冒険のお話です。二人はお宝がかくされているとわさの沓見島に乗り込み、ジャングルや湖、危険な動物たちなど数々の試練を乗り越えて宝物を見つけます。試練に出会うたびに、沓見島の6年生が助けてくれます。トラから逃れるためにドーナツを分けたり、ケガをしたりと消毒をしてばんしんこうを貼ってくれたり優しい6年生に助けられます。そして最後は、ヤマバードラゴンを助けて、宝箱をいただきます。宝

箱を空けて中から出てきたものは、「6・年・生・の・き・ず・な」という素敵な宝物。そんな大事なお宝は受け取れず、二人の冒険は終わります。

3年生の発表で、6年生の団結力をしっかり伝えられました。

【4年生の発表の様子】



4年生は「めざせ6年！こえろ6年！！4年生からの挑戦状」と題して、一輪車、なわとび・跳び箱・鉄棒の演技を披露しました。4年生は、4月から「クラス全員で達成しよう」という目標を立てて、鉄棒の逆上がりや足かけ後転など様々な運動に取り組んできました。その成果を6年生に見てもらおうといろいろな技を披露しました。

運動をしても素晴らしい6年生に負けれない一生懸命頑張っていた4年生の姿に、6年生の偉大さを感じることができました。

【5年生の発表の様子】



5年生は、6送会の司会・進行という大役を背負いながらも、幕間の劇やお笑いを入れて会を盛り上げました。さらに、6年生の思い出の写真をスライドで映し出しながら、劇やダンスの出し物も行いました。6年生との楽しい思い出を作りたい、6年生に気持ちよく卒業してほしいと思いつつ、がんばっていた5年生です。準備の段階では、意見がまとまらず苦労していましたが、当日は、見事な演出ができました。5年生の出し物の中に、自然に6年生が溶け込んでいくシーンもみられました。きっと6年生も安心をして卒業できたと思います。

【6年生の発表の様子】



6年生は、幕間に女子7名がダンスを披露し、男子はアニメキャラクターに変身して、友達の大切さを劇にしました。会場から笑いや拍手が沸き起こりました。会の最後は「ありがとう」と題して、一人ひとりが家族に対する感謝の気持ちを手紙に書いて伝えました。「今まで迷惑をかけてすみません。」「中学校へ行っても、見守ってください。」など自分の気持ちを素直に伝えました。会場にいる参観者には、涙する人もおられました。

在校生も、家族に対して感謝の気持ちをもてたのではないのでしょうか？

